

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2019年度第1四半期決算説明資料

2019年7月31日

第1四半期実績 及び前年同期比較

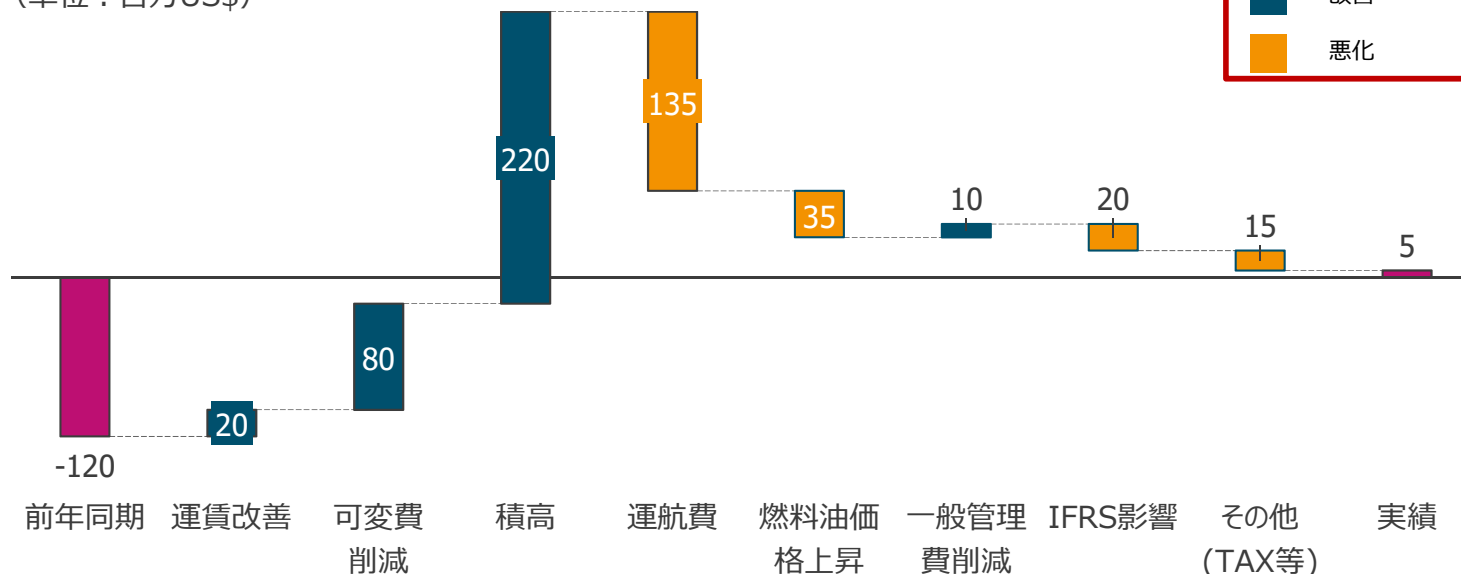
期首想定を上回るペースで収支は好転、第1四半期は黒字化を達成。

(単位：百万US\$)

	2018年度	2019年度	1Q	
	1Q 実績	1Q 実績	増減	増減 (%)
売上高	2,066	2,875	809	39.1%
税引き後損益	-120	5	125	-
燃料油価格(US\$/MT)	\$407	\$432	\$25	

第1四半期実績 対前年同期差異分析

(単位：百万US\$)



- 運賃：北米、南米、アジアで改善。欧州で悪化。
- 可変費：ポートフォリオ改善 (p.5記載)やコスト削減活動により、ターミナル費用、内陸費用等の可変費単価が低下し収益性は改善。
- 積高：サービス安定に伴い大幅に改善。事業を開始した前年同期に段階的にサービスを開始した事も影響。
- 運航費：プロダクト最適化 (p.5記載) 及び燃料油節減活動により単価は想定通り下落するも、段階的にサービスを開始した前年同期比で総運航費は増加。
- 一般管理費：代理店費用、IT費用が減少。
- IFRS影響：リース会計基準適用開始による影響
- その他：運賃収入増加による Freight Tax増加影響等。

主要航路別積高・消席率・運賃指数

(単位: 千TEU)

航路別積高・消席率		2018年度実績							2019年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	通期	1Q 実績
北米往航	積高	530	761	746	627	1,291	1,374	2,664	669
	消席率	73%	90%	95%	88%	82%	92%	87%	86%
欧州往航	積高	312	478	442	455	790	897	1,687	460
	消席率	73%	90%	92%	92%	82%	92%	88%	87%
北米復航	積高	218	285	320	318	502	639	1,141	350
	消席率	33%	33%	40%	43%	33%	41%	37%	47%
欧州復航	積高	194	263	315	320	457	634	1,091	323
	消席率	48%	47%	62%	63%	48%	62%	55%	64%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2018年度実績							2019年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	通期	1Q 実績
北米往航		100	101	108	105	101	107	104	103
欧州往航		100	106	100	107	104	104	104	100

- ❑ 北米往航：運賃は長期契約については、期首の想定並に妥結し改善、その効果は5月以降、順次発現してきており、短期市況も、堅調に推移。荷動きは、米国の中国への追加関税措置により、一部の顧客に出荷を控えるなどの影響がみられやや低迷し、期首想定では計画していなかった減便を12便実施し、消席率の維持に努めた。
- ❑ 欧州往航：全体の需要は比較的好調を維持したものの、運賃市況は供給の伸びが需要を上回り昨年並みに低迷。計5便の減便を実施し消席率の低下を最小限に留めた。
- ❑ 復航：北米航路は不安定な荷況の中、安定的に推移し四半期の積高としては最高値を記録。欧州航路は積高は堅調に推移し四半期の積高としては最高値を記録したものの、運賃市況は供給の伸びの影響を受けて低調となった。

□ 通期業績 及び前回予想比較

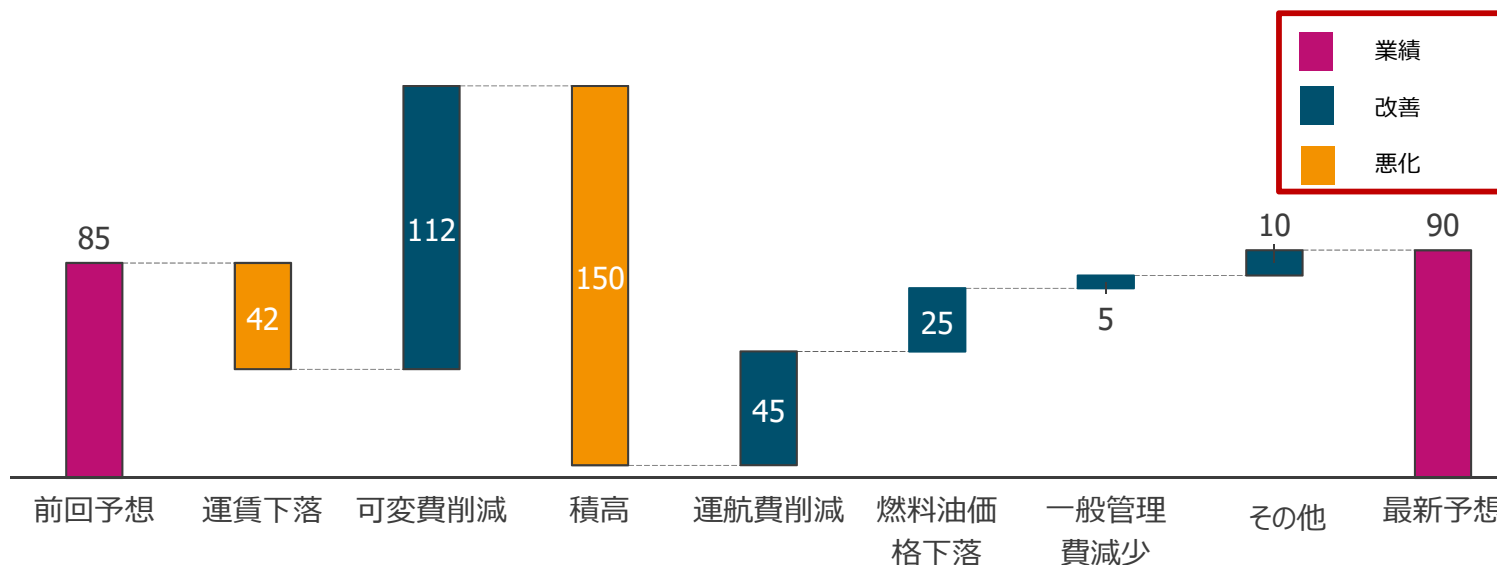
1Qの収支改善は期首想定を上回り推移も、2Qは主に欧州悪化を織り込み、上期では微改善に留まる。下期は据え置き。

(単位：百万US\$)

	2019年度前回予想			2019年度最新予想					通期	
	上期 予想	下期 予想	通期 予想	1Q 実績	2Q 予想	上期 予想	下期 予想	通期 予想	増減	増減 (%)
売上高	6,417	6,306	12,723	2,875	3,214	6,089	6,306	12,395	-328	-2.6%
税引き後損益	123	-38	85	5	123	128	-38	90	5	5.9%
燃料油価格(US\$/MT)	\$445	\$533	\$488	\$432	\$432	\$432	\$533	\$483	-\$5	

□ 通期業績 対前回予想比較

(単位：百万US\$)



税引き後損益に対する燃料油Sensitivity
四半期・US\$10/MT あたり ±US\$2MIL
 ※MARPOL2020規制による燃料油価格上昇は
 OBS(ONE BUNKER SURCHARGE)で回収前提

- 運賃：主に欧州航路での悪化を反映。
- 可変費：1Q同様、ポートフォリオ最適化効果やコスト削減効果を反映し、可変費単価は減少、収益性の改善を見込む。
- 運航費削減：需要の伸びが期首想定に届いておらず、追加減便を実施。プロダクト最適化と燃料油節減活動は期首想定通り。
- 積高：主に欧州・北米・アジア航路で1Q実績と2Q足元の需要減少を反映。通期の需要は全世界で3%前後の伸びに留まると想定。
- 一般管理費：代理店料、IT費用が減少。

2019年度 取り組み進捗

<p>貨物ポートフォリオ最適化</p>	<p>北米長期契約は、19年度のプロダクトをベースに顧客別、発地・向け地別の収益性の精査し交渉を行った結果、期首で想定した水準通りの妥結。期首時点での見込み通り、US\$190Mil/年間の改善を見込む。追加コスト削減活動により可変費単価は下落、想定通りの削減効果が出ている。</p>
<p>プロダクト（航路・投入船）最適化</p>	<p>2019年度サービス改変に伴う船の転配は6月に完了。THE Allianceでは北米-欧州の振り子配船開始や複数航路での大型化、寄港地の見直し等（改善額：約US\$120Mil/年間）、THEA以外では西亜航路合理化、不採算航路の休止や大型化、自社フィーダー網拡大等（同：約US\$75Mil/年間）、また燃料油節減活動による改善策（同：約US\$65Mil/年間）を期首の想定通り実施、効果額は年度を通じて現出。THEAは、2020年4月より現代商船の参画を決定。更なる競争力強化のため、新サービス開始へ向け準備に着手。</p>
<p>組織の最適化</p>	<p>組織全体の見直しを通じ、より効率的且つ競争力のある体制の構築に向けて組織やシステムの最適化を推進。E-commerceの強化、ロボティクス等技術の導入を含めた組織合理化についても取り組み中。US\$50Mil/年間の改善策は期首の想定通りに進行中。</p>
<p>シナジー効果の現出</p>	<p>US\$1,050Mil/年間のシナジー効果目標について、統合1年目となる2018年度には82%現出。2年目の2019年度に96%達成、3年目の2020年度に100%達成とする目標に変更なし。</p>
<p>MARPOL2020対応</p>	<p>環境保護と規制の遵守に向けて取り組みは着実に進捗。規制適合油の調達は、規制発効までに使用相当量確保の目途が立っている。スクラバーについては業界の動向を注視しつつ、業界並みの搭載率をベンチマークとし大型船への搭載準備を順次進めている。規制対応により輸送コストは大幅に上昇し、運賃への転嫁が不可避。顧客への説明を尽くしており、2019年末をまたぐ略全ての長期契約でOBS(ONE BUNKER SURCHARGE)等コストリカバリーの合意を取得済。年末の交渉においても同様の対応を進める前提。</p>
<p>海外ターミナル事業の移管</p>	<p>親会社からの海外ターミナル事業の移管は2019年度早期の実行を目指す。</p>

Size		1)2018年度末	2)2019年6月末	2)-1)
>= 20,500 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	0
10,500 - 20,500 TEU	キャパシティ(TEU)	335,220	349,220	14,000
	隻数	24	25	1
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	100,100	100,100	0
	隻数	10	10	0
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	331,036	365,941	34,905
	隻数	37	41	4
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	254,900	234,404	▲ 20,496
	隻数	39	36	▲ 3
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	89,998	89,998	0
	隻数	16	16	0
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	132,488	133,204	716
	隻数	27	27	0
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	71,816	67,384	▲ 4,432
	隻数	16	15	▲ 1
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	29,690	25,472	▲ 4,218
	隻数	7	6	▲ 1
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	60,952	50,216	▲ 10,736
	隻数	23	19	▲ 4
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	16,993	13,261	▲ 3,732
	隻数	10	8	▲ 2
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	6,449	7,471	1,022
	隻数	6	7	1
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	2,106	1,402	▲ 704
	隻数	3	2	▲ 1
合計	キャパシティ(TEU)	1,552,348	1,558,673	6,325
	隻数	224	218	▲ 6